

女性農業者の社会参画の推進

1 対象

愛知県農村生活アドバイザー協会尾張支部（46名）

内訳 愛知県農村生活アドバイザー協会尾張支部尾張東分会（19名）

愛知県農村生活アドバイザー協会尾張支部尾張西分会（27名）

2 背景

愛知県農村生活アドバイザーは多くの市町で農業委員や農協理事など方針決定の場へ登用されるようになってきた。方針決定の場へ女性が参画するためには、自分の意見を公の場で発言できる女性農業者の育成が必要である。農業者の約半数を占める女性が、自分の経験をもとにした意見や考えを地域（市町、JA）の政策や事業に反映させることで、女性の働き方改善、能力発揮、農業での活躍につなげることができる。

3 活動の内容

(1) 市町、農協へ女性農業者登用の働きかけ

- ・農業改良推進会議で、農業委員、農協理事への登用促進を働きかけた。
- ・女性農業委員情報交換会を開催し、市町、農協担当者に女性の登用促進を呼びかけた。

(2) 社会参画に向けた能力向上支援

ア 学習会の開催支援

女性農業者の能力向上のため、以下の学習会等の開催を支援した。

7月 経営研修会（尾張支部）

8月 税務研修会（西分会）、女性農業委員情報交換会（稲沢駐在室管内市町）

9月 女性農業委員情報交換会（本課管内市町）

長久手市田園バレー構想学習会（東分会）

12月 発酵研修会（西分会）

3月 コミュニケーション研修会（東分会）、会員活動事例紹介（西分会）

イ 地区活動の支援

一宮市との農政懇談会の開催及び意見の取りまとめを支援した（10月25日開催）。

ウ 学習会後のアンケートの実施

学習会ごとに、学んだことや、今後自らの経営の中で実践したいことをまとめるアンケートを実施した。

4 活動の成果

- ・市町、JA、農業委員会へ女性の登用を啓発することができた。
- ・女性農業者の能力向上、視野拡大につながる研修会を8回開催できた。
- ・研修会ごとにアンケートを実施し、学習会を通じて39名中33名の能力向上が確認できた。
- ・LINEグループを立ち上げ、会員相互のつながりを促進することができた。



長久手市田園バレー構想を学ぶ



一宮市との懇談会